【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年10月8日(2024.10.8)

【公開番号】特開2023-48010(P2023-48010A)
【公開日】令和5年4月6日(2023.4.6)
【年通号数】公開公報(特許)2023-064
【出願番号】特願2021-157241(P2021-157241)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　3/36(2006.01)
Ｈ０４Ｌ 25/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　3/36　　Ｚ
Ｈ０４Ｌ 25/02　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月27日(2024.9.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項９】
前記第１の基板に信号処理手段を搭載し、前記第２の基板に表示手段を搭載し、前記第１の伝送配線は、前記信号処理手段から出力される表示用の画像データを前記表示手段に伝送し、
前記第３の基板にメモリカードコネクタを搭載し、前記第３の伝送配線は、前記信号処理手段から出力される記録用の画像データを前記メモリカードコネクタに伝送する
ことを特徴とする請求項８に記載の電子部品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
ダイレクト接続部４０２は、撮像基板１０２とフレキシブル基板４０１とを、撮像基板１０２上に形成された金属配線が露出した開口部と、フレキシブル基板４０１上に形成された金属配線が露出した開口部（１つの端部）とを、導電接続部材で接続することにより接続する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
ダイレクト接続部２１２は、信号処理基板２１０とフレキシブル基板２１３とを、信号処理基板２１０上に形成された金属配線が露出した開口部と、フレキシブル基板２１３上に形成された金属配線が露出した開口部（１つの端部）とを、導電接続部材で接続することにより接続する。
【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
なお、上述した例では、信号処理部２０１から撮像素子１０１に、撮像素子１０１の補正データや調整データ等を送信する場合について説明したが、これに限られるものではなく、例えば、基板２１０に撮像素子１０１を制御する制御部を搭載してもよい。